

事務事業名 トレーニングルーム・歩行プール管理運営事業

出力日：令和07年03月18日

キーコード：346

施 策：	09	健康づくりの推進	財務コード	01040102-12-292
基本事業：	02	生活習慣の改善とこころの健康づくり	担当部	健康福祉部
基本事業の 成果指標	週2回以上運動をする市民の割合 定期的に歯科検診を受けている市民の割合 喫煙している市民の割合 睡眠・休養がとれている市民の割合		担当課	健康推進課
			担当係	健康企画担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成10年度	～	新規・継続	継続	会計区分		実施計画		
1．対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2．手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
20歳以上の市民及び市外住民			カミリーヤトレーニング健康測定室・歩行訓練プールの管理運営を民間業者に委託、健康運動指導士等を配置し運動実践者を増やす。 ○トレーニング健康測定室及び歩行訓練プール運動指導業務委託事業 ・事業開始年月日 H10.11.1～ ・運営形態…業者委託 ・委託期間…R2.4.1～R5.3.31（3年間） R5.4.1～R8.3.31（3年間） ・利用時間：火曜日～金曜日 9:00～19:00 土曜日・日曜日・祝日 9:00～17:00 休日：毎月曜日 ・利用料金：トレーニング室（1回2時間以内350円、17時以降150円） 歩行訓練プール（1回1時間以内200円） 市外在住者倍料金 ・職員配置基準：トレーニング室（17時までは最低2名以上常勤） 歩行訓練プール（最低1名以上常勤） ・健康測定会：年6回（50名/回、参加費：500円） ・委託料は、3課で按分（高齢者支援課、国保年金課、健康推進課）						
3．意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
・個々の健康や体力度にあった適切な運動習慣を行うことにより、運動の習慣化を図る。 ・健康づくりの実践によって、生活習慣病及び介護予防に繋げる。									
4．成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標
トレーニング健康測定室及び歩行訓練プール年間利用者数（延べ人数）		人	22,472	26,171	28,000	28,000			28,000
健康度測定実施者数（延べ人数）		人	208	157	220	220			220
5．コスト									
事業費	計	千円	8,949	7,972	12,457	9,614			
	国	千円	0	0	0	0			
	県	千円	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0			
	一般	千円	8,949	7,972	12,457	9,614			
正職員人工数		人工	0.3	0.3	0.3	0.3			
正職員人件費		千円	2,318	2,345	2,407				
トータルコスト(事業費＋正職員人件費)		千円	11,267	10,317	14,864	9,614			
6．成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
○あがっている ●どちらかといえばあがっている ○あがっていない（停滞・低下）	<状況> 歩行訓練プールの利用者は昨年度より1,576人増加し11,930人、トレーニング健康測定室の利用者は昨年度より2,123人増加し14,241人となり、利用者数の合計では昨年度より3,699人増加し、26,171人となっています。 また、健康度測定実施者数は51人減少し、157人となっています。 <原因> 新型コロナウイルス感染症の感染状況の収束及び感染症法上の5類への位置付けによるものが考えられます。 <課題> 引き続き感染拡大防止策を行いながら、新規利用者の獲得および継続にむけた個別アプローチを実施する必要があります。								
7．評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	・委託業者の選定については、随意契約により決定していたが、平成24年度からプロポーザル方式を導入した。併せて、平成27年度より事業内容を大幅に見直し、コスト削減に繋がりました。 ・平成27年度からのトレーニング室利用時間短縮に伴い、H27.7.21より夕方割引料金を導入、17時以降の利用促進に繋がりました。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	あり						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地あり						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8．改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				■改善方向性 ●維持 ○見直し ○廃止 ○事業終了					
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
・新規利用者獲得のために、健康セミナーを月1回開催及び特定健診結果説明会の参加者にトレーニング健康測定室の無料体験チケット（1回分）を配布し、利用促進を図ります。さらに無料体験から利用登録へと繋がるよう個別の対応を強化します。 ・広報や公共施設等様々な機会を利用して周知を図ります。									
■事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				■備考・特記事項 or 進行管理欄					
平成10年11月のカミリーヤの開館に伴い、トレーニング健康測定室及び歩行訓練プールを開設、業者委託により専門の健康運動指導士等を配置し運動指導を開始。									